

石川。ピカ。ピカ大作戦

未来へ希望を
海ごみアートを共同制作

海ごみ方にを共同制作

沼島小学校・沼島中学校と三崎中学校で、海のごみを用いて作る「SDGs海ごみアート」を作成した。

「虹色の中学校三年生の『**SDGs**』」は、三崎中学校の足をもつたタコと海の守り神であるカメとして、地球を笑顔にしていきたい」という思いが込められていました。また、タコとカメの周りには、小さな魚などの海の生き物が泳いでいるデザインとなっていました。制作を指導してくださったのは、珠洲市で講演会やSDGs海ごみアートの制作を行っている竹下あづささん。竹下さんは小学校の時に神戸に住んでいて、阪神・淡路大震災を経験しているという。児童生徒は、三崎中の子どもたちとの交流だけでなく、海洋ごみについても関心を持つことができる機会にもなった。共同アート制作の前に行われた海岸でのごみ拾いでは、分別をしながら交流する様子が見られた。また、活動の後には、沼島中学校の卒業生が作った歌『**SDGs**』を歌い、明るい未来に向かって頑張つてほしい、繋がつていよう、という思いを伝えた。この活動が地球の環境を良くしていく事・石川県の人々に元気を与えられるきっかけとなる事を願う。



海岸清掃

令和6年10月
南あわじ市立
沼島小中学校



教訓を生かす

須須神社

須須神社の猿女さんにお話を聞かせて頂いた。珠洲市では、小さい地震は今までよく起きていたけれど、一月一日に起きた能登半島地震はとても大きかった。猿女さんは「淄れる時間待つた。

A photograph of a traditional Japanese building entrance at night. The entrance is framed by two large, light-colored wooden panels with intricate carvings. Above the panels are red lanterns hanging from a decorative eaves bracket set. The entire structure is covered in a dense layer of green moss or ivy, giving it a rustic and ancient appearance. The lighting is warm and focused on the entrance, creating a cozy atmosphere.



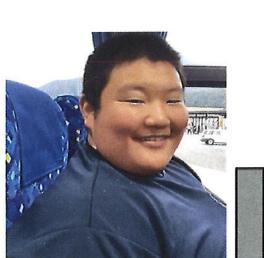
表敬訪問

沼島小中学校の代表が、珠洲市役所を表敬訪問し、四月から集め大約三三万円の募金を届けた。中学三年生のさんは「子どもたちの希望となる活動に使ってください」と述べた。

さき小学校の児童と交流し、グラウンドにて建てられた仮設住宅への訪問も行つた。交流会では、互いの学校紹介の後、ゲームや肩をくんで合唱し、体育館に笑顔が溢れた。兵庫県の南端にある沼島と、能登半島の東端の子どもたちが災害を乗り越えようと交流する姿は、回復した天気も同様、希望の光が広がっていくようであった。昼食後、児童たちは仮設住宅を回った。南あわじ市のブランド玉ねぎを配布したり、反社会で暮らす方々と交流したり、

みさき小学校との交流会・仮設住宅訪問

石川県で家が潰れていい
てショックだった。小
学校の子と仲良くす
ることができてよかつた
し、元気を送ること
できた。



色々活動している時に
石川の皆さんから、あ
りがとうと言われたこ
とが嬉しかったです。
早く復興してほしいと
思います。

中学生と、色々交流ができるで楽しかったです。生活が大変なのに、笑顔で接してくれることがとっても嬉しいかったです。

があつたので、早く復興してほしいです。自分にできる事ができて良かったです。小学校とも交流てきて楽しかったです。これからも頑張ります。

今回の経験を通して、石川の人は、被災者なのに優しく接してくれて、とても嬉しかったです。早く復興してほしいです。この経験をこれから的生活に活かしていきたいです。

島小中学校で生活に困っている人たちを笑顔にすることができてよかったです。中学生と交流できいろんな活動ができた楽しかったです。